

環境講演会アンケート集計結果

【テーマ】 近年に整備されたごみ処理施設の現状について
 ～ 安全安心かつ地域に親しまれる施設を目指して ～

【開催日】 令和5年6月11日（日）

【場所】 藤樹の里文化芸術会館 ホール

【参加者数】 80人 【回答者数】 62人 【回答率】 77.5%

【問1】 あなたの年代を教えてください。（1つに○をつけてください）	合計	割合
①10代	0	0.0
②20代	0	0.0
③30代	0	0.0
④40代	4	6.5
⑤50代	18	29.0
⑥60代	14	22.6
⑦70代以上	26	41.9
無回答	0	0.0
合計	62	100.0

【問2】 あなたのお住いの地域を教えてください。（1つに○をつけてください）	合計	割合
①マキノ地域	4	6.5
②今津地域	11	17.7
③朽木地域	3	4.8
④安曇川地域	33	53.2
⑤高島地域	5	8.1
⑥新旭地域	6	9.7
無回答	0	0
合計	62	100.0

【問3】 本講演会の理解度についてお聞かせください。（1つに○をつけてください）	合計	割合
①よく理解できた	11	17.7
②理解できた	31	50.0
③どちらでもない	9	14.5
④理解できなかった	2	3.2
無回答：8 + ②と③両方に○印：1	9	14.5
合計	62	100.0

【問4の質問】講師への主なご質問やご意見とその回答

・高島市の新ごみ処理施設から発生する熱エネルギーについて、こういった利用ができるのか。

⇒新ごみ処理施設から発生する熱エネルギーの利用先は、施設内の給湯、暖房・冷房、ロードヒーティング（構内道路の雪を解かす）、農業施設、温浴施設などがあります。今後、建設予定地の周辺地域の皆様のご意見を伺いながら、建設検討委員会で検討していくことになります。

・新ごみ処理施設の整備費用はいくら掛かるのか。（市の回答）

⇒平成30年当時のプラントメーカーの見積りによると、施設の建設費は約100億円弱でした。今後、ごみ処理施設建設検討委員会で施設整備基本計画の策定等において、プラントメーカーへの見積り調査等通じて、整備費用を積算することになります。（市の回答）

・新ごみ処理施設で働く人がダイオキシン類に触れたりすることによる健康被害は大丈夫なのか。

⇒焼却施設内作業におけるダイオキシン類の健康被害の防止対策については、労働安全に関する関係法令がありますので、その関係法令を守ることはもちろんですし、保護具の着用など、必要な措置を講じるとともに、労働者の安全対策の徹底を図ることとしています。

・海外のごみ焼却施設の状況を知りたい。

⇒海外の施設でも日本と同様に基本的には、同じ仕組みで焼却をされています。海外では大規模な施設が多く、広域化が進んでいると言えますが、日本は島国であることや、自治体間の調整など、広域化が困難であり、小規模な施設も少なくないことがあげられます。

・新しい施設は地域になじむのか。周辺への影響は大丈夫なのか。

⇒新施設は地域になじむのかについてですが、景観への配慮として、建物の外壁にアースカラーを使うことや施設周辺に植栽を施すことで、施設自体を目立たなくする手法もあります。今後、建設予定地の周辺地域の皆様のご意見を伺いながら、建設検討委員会では、その方向で検討していくことになります。

・周辺への影響は大丈夫なのか。

⇒周辺への影響についてですが、こちらも市の方で生活環境影響調査を通じての影響の有無を調査し、影響が予測される場合は、対策を講じる必要があります。なお、講演会でもお話したとおり、日本全国には、焼却施設が約1,000施設ありますが、周辺に影響が出た事例は聞いておりません。

・豊富な経験からのわかりやすい説明ありがとうございました。

【問5の質問】環境講演会や新ごみ処理施設の整備に関する主なご意見やご要望とその回答

○合意形成について

・反対の周辺住民の方と十分に話し合い、解決してからのスタートであると思う。区の理解・合意形成をはかり進めていくべきである。

⇒今後も周辺地域の方に、誠実かつ丁寧にご説明させていただき、ご理解いただけるように努めます。

○搬入道路について

・搬入経路の景観、搬入道路の拡張、搬入時の交通安全対策をすること。また反対もあることから、新たな専用道路を付けてほしい。

⇒搬入道路につきましては、周辺地域の皆様にもご意見を伺いながら、十分に検討させていただきたいと考えています。

○地下水（排水）について

・施設から排出される排水について、地下浸透するなど、地下水の汚染が気になる。

⇒新ごみ処理施設の排水につきましては、施設の外へ排出することはなく、施設の中で再利用する計画です。

○周辺環境・景観等について

・排ガス規制を厳しくしすぎたり、誰も来ない余熱利用施設を作るなど、税金を無駄に使うことないよう、合理的な施設を望みます。

⇒排ガス規制に関しましては、滋賀県内の先進地事例も参考に検討してまいります。

余熱利用につきましては、熱エネルギーの有効利用、地域振興の観点から周辺地域の皆様にもご意見を伺い、検討させていただきたいと考えています。

・環境、景観に配慮した施設整備にしっかり取り組んでいただきたい。

⇒令和5年度から令和6年度にかけて、生活環境影響調査を実施します。そこで景観上の問題があれば、景観を阻害しないように、整備計画に盛り込んでまいりたいと考えています。

○その他

・ごみ減量に向けてや、新ごみ処理施設の整備について、地域へ出向いて説明会をしてほしい。また関心をもってもらえるような取り組みをしてください。食品トレーなどプラスチックの分別など、ごみ減量を進め、市民にやさしい、思いやりのある施設をお願いします。

⇒説明会のご要望につきましては、区長様等を通じまして、環境センター建設課にご連絡いただけますと、その地域に出向いてご説明をさせていただきます。

プラスチックごみの分別につきましては、現在のところプラスチックボトルのみ（ペットボトルは別）を分別回収していただいておりますが、新ごみ処理施設の稼働にあわせて全てのプラスチックごみの分別が実施できるよう、現在、建設検討委員会でもご審議いただいております。

・今後も、新ごみ処理施設についての動向等を定期的に公開してほしい。維持管理費用がいくらかかってくるのか、説明してほしい。

⇒新ごみ処理施設の動向、ごみ処理施設建設検討委員会の内容や審議経過につきましては、積極的に広報に努めてまいります。

高島市の全市民に関わる施設ですので、今後、更に広報たかしまや市のホームページなどを活用し、丁寧かつわかりやすい広報に努め、市民の関心が高まるように努めてまいりたいと考えています。

○ご意見

・高島市に必要な施設と考えますので、計画どおり進めていただきますようお願いいたします。

・市民も、ごみ回収業者も利用しやすい形をぜひお願いします。

・ごみ処理に関する歴史（責任）や運営のこと、しくみが良く判った。

・施設整備に関し十分な安全対策を講じられるようお願いいたします。

・近年の施設は技術的に環境上安全であるということを全国の施設例等で聞いてみたい。

・施設を受け入れてくださった泰山寺地域及び周辺地域の方々に感謝します。環境、景観に配慮した施設整備にしっかり取り組んでいただきたいと思っております。